

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月23日

計画の名称	湧水町における区画整理による安全・快適なまちづくり（第3期）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	湧水町											
計画の目標	土地区画整理事業の手法により、道路をはじめとする都市基盤施設と宅地を総合的かつ一体的に整備し、活力にあふれ安全・快適で利便性の高い生活を可能とするまちづくりの推進を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	942	A	942	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R3当初	中間目標値 R5末	最終目標値 R7末
1	・施工区域における安全で豊かな生活を実現する成果目標として、緊急車両がアクセス可能な宅地の割合を72%（R3）から81%（R7）へ拡大。 施工区域内における緊急車両がアクセス可能な宅地の割合を算出する。 （安全で豊かな生活が可能な宅地面積の割合）= 緊急車両がアクセス可能な宅地面積（評価時）/ 宅地面積（施工後）（%）	72%	78%	81%
2	・施工区域における快適で利便性の高い生活を実現する成果目標として、公園を利用しやすい宅地の割合を81%（R3）から93%（R7）へ拡大。 施工区域内における子供連れのお母さんが徒歩10分で公園を利用できる宅地の割合を算出する。 （快適で利便性の高い生活が可能な宅地面積の割合）= 徒歩10分で公園を利用できる宅地面積（評価時）/ 宅地面積（施工後）（%）	81%	91%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	湧水町	直接	湧水町	区画	改築	下場地区((都)駅前通 線外)	区画整理 A=25.8ha	湧水町						942	1.7	-
											小計						942		
											合計						942		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
下場土地区画整理事業審議会で意見を求めて事後評価を行う。	令和8年3月末
	公表の方法
	湧水町ホームページ等への掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業地内において、都市計画道路等を整備することによって狭隘道路が解消され緊急車両等の乗り入れが可能な範囲が広がり緊急時の活動困難区域を減少することができた。 土地区画整理事業地内において、都市計画道路等を整備することによって6m以上の道路に接する街区が増加し公園を短時間で利用できるようになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き土地区画整理事業を行い、道路や宅地を整備し、活力にあふれ安全・快適で利便性の高いまちづくりを目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	81%	近年の物価や人件費の高騰により、建物移転補償費等の費用が当初より増額したため、工事費の縮減が必要となり、道路整備を予定通りに進められなかったことが要因と考えられる。
	最終実績値	80%	
2	最終目標値	93%	近年の物価や人件費の高騰により、建物移転補償費等の費用が当初より増額したため、工事費の縮減が必要となり、道路整備を予定通りに進められなかったことが要因と考えられる。
	最終実績値	75%	